

# 登ってみたら！あなたはきっと殿様気分？

空気が澄んでいると隠岐島がよく見える。



頂上から隠岐島を望む



頂上から潜戸を望む



金比羅堂

頂上



頂上から加賀別所方面



第一展望台

滑りやすいので注意をしましょう。

第一展望台から加賀湾を望む



落雷によって燃えた松

東回り下山道

東回り下山道

東回り下山道

西回り登山道

●第二展望台



第二展望台から加賀湾を望む



第二展望台から体育館を望む



第三展望台



第三展望台から学校・公民館を望む



第三展望台から町並み・潜戸を望む



徳正公御に。忍びの嶺に松さきり



下山道近道(急勾配)

西回り登山道

西回り登山道

應海寺



登山道入り口 (境内を歩いていく)

P

## 弥山さん (加賀城跡)

戦国時代(15世紀末～16世紀末)全国に大名がいてそれぞれが城をもち、勢力を拡大しようとしていました。中国地方では毛利氏と尼子氏が互いに覇を競い合い、激しい攻防を繰り返し、ここ弥山さんの頂上にも城があり、加賀殿という城主がいました。

1,562年(永禄5年)3千の兵を率いた尼子義久が加賀城を攻めました。時の城主加賀喜兵衛尉正利は手勢をもって奮戦し城を守りました。その後も、尼子軍は執拗に加賀城を攻めましたが、それは加賀港が良港であり、交易で繁栄していたからです。

加賀城主は毛利氏に味方し、城を守り抜き、やがて尼子氏が滅び、毛利氏が中国地方の覇者として君臨すると、加賀城主はこれまでの功績により重用されました。

時代は移り、城はなくなりましたが、城跡には金比羅堂が建立され、加賀の移り変わりや航海の安全を静かに見守っています。

## 弥山さん八十八か所霊場巡り

ここには、お大師さまと共に歩む八十八か所の霊場があります。

文政5年(1,822年)に應海寺の雪溪和尚が開き、地元加賀浦の人を中心に四国八十八か所霊場の本尊さまが寄進されました。八十八か所霊場の土をそれぞれに少しずついただいて、お祭りしたと云われています。

8月21日のお大師さん参りの日には、昔はたくさんの方がお参りして大変な賑わいだったそうです。

一番は本堂東側の登山道入り口付近の御大師さま、頂上には四十一番から五十番、東側下山道の下山口に八十八番があります。



平成29年度「み～もの森づくり事業」

加賀まるごと博物館